

平成 29 年度第 1 回協議会の概要

○ 開催日時 平成 29 年 6 月 1 日 (木) 13:30～15:30

○ 会場 国保会館 5 階大会議室

○ 委員	札幌市	吉川委員		江差町	白鳥委員	
	江別市	児島主査	代理出席	旭川市	山本委員	
	三笠市	大村委員		遠軽町	深澤委員	
	秩父別町	宮武委員		音更町	青砥委員	
	登別市	宍戸委員		釧路市	佐藤委員	
	函館市	高橋主査	代理出席	広域連合	金指委員	

○ オブザーバー

北海道保健福祉部	北山主査	森下主査
北海道国民健康 保険団体連合会	河村課長	中港主幹

○ 事務局 嶋内事務局長、長谷川保健事業担当係長、半澤、木村、佐々木、武藤

○ 会議概要

1 開会

2 事務局長挨拶

3 自己紹介

4 議事(要旨)

(1) 広域連合の保健事業概要について

次の項目について、事務局から説明を行った。

* 北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施計画(平成 27 年度～平成 29 年度)について

- * 平成 29 年度の主な保健事業について
 - * 次期北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施計画の策定について
- (2) オブザーバーからの情報提供
- ア 北海道高齢者保健福祉課から、地域包括ケアシステムの推進について、説明があった。
- * 地域包括ケアの背景、支え合いによる地域包括ケアシステムの構築について
 - * 地域支援事業について
 - ・ 訪問型サービス、通所型サービス等の新しい総合事業については、(遅くとも)平成 29 年 4 月から実施となる。
 - ・ 道では、地域介護予防活動支援事業(一般介護予防事業)の一環として、「住民主体の通いの場」の取組を実施している。
 - ・ 地域リハビリテーション活動支援事業(一般介護予防事業)として、リハビリテーション専門職に対する研修事業を委託実施する。
 - ・ 医療・介護連携推進事業等については、(遅くとも)平成 30 年 4 月から実施となる。
 - ・ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進にあっては、関係団体への委託により実施も可能。
 - ・ そのほか、認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーターの配置、養成研修等について説明があった。
- イ 北海道地域保健課から、糖尿病等生活習慣病予防のための人材育成研修、「脳卒中・急性心筋梗塞あんしん連携ノート」について、説明があった。
- * 研修は、特定健診等従事者を対象として開催しているが、高齢者への保健指導にもつながるものであるので、活用していただきたい。
 - * 連携ノートは北海道地域連携クリティカルパス協議会が作成したもので、今後、普及啓発を進めていこうとしている。また、ガイドブックについても、今後、発行予定となっている。
- ウ 北海道国民健康保険団体連合会から、連合会の保健事業に関する活動・支援について情報提供があった。
- * 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業として、保険者のデータヘルス計画等の策定に関し、助言や、健康課題の分析や保健事業の評価、などの支援を行っている。
 - * 国保保健活動研修会、国保保健事業健康づくり担当課長及び係長合同研修会、生活習慣病予防対策担当者研修会といった研修会を通じ、生活習慣病の発症や重症化予防の対策について支援をしている。

(3) 情報交換等

出席委員から、各市町の状況等について説明があった。

* A市町

- ・ 介護予防サポーター養成講座を平成 19 年度から開催し、サポーターとなった人は、介護予防継続教室で体操を教えたり、生活習慣病予防の話をするなどの活動を行っている。教室の参加者の半数以上は後期高齢者となっている。

* B市町

- ・ 介護予防普及啓発事業として、高齢者の運動や認知機能検査も含めた介護予防教室を 1 月から開始した。
- ・ 特定健診の受診率向上策として、文書での勧奨のほか、これまで保健師が電話勧奨を行っていた。保健師は保健指導や重複・多受診の訪問などに力を入れていこうということで、電話勧奨については、今年度、民間委託により実施することとなった。

* C市町

- ・ 歯科健診を 20 年くらい前から実施している。一般の住民健診の場で総合的な健診を受けられるようになっており、全て無料となっている。
- ・ 介護予防事業で、作業療法士さんのほか、言語聴覚士の先生に来ていただき個別支援をしているが、歯科から言語聴覚士の先生につながるが増えてきている。
- ・ 60 歳前後ぐらいが、歯の気づき。これを過ぎてしまうと、もういいやということになってしまう。歯科に関しては、60 代前後が今までと違う口腔になってくるというところで、意識として、60 代で困り感が多く、70 代になってしまうと、困り感がぐんとなくなってしまう、こんなものなのだになってしまう。歯科健診は 60 歳前後から 70 代前半ぐらいが意識が高いのだなというのが、ここ 2、3 年の感想。元気な方たちは歯も元気なので、効果はあるなど実感している。

* D市町

- ・ 歯科健診は、10 年くらい前から、春と秋にやっている集団健診にあわせて実施している。
- ・ 広報や町内回覧だけでなく、無料で新聞に折り込みを入れるものがあり、それにも載せている。1 日十何人ぐらいしか割り振りはないが、先生の診察と歯科衛生士の指導をやっている。

5 閉 会